

「インフラ事業における民間資金導入」に関する講習会

近年、国や自治体の財政の逼迫とともに、増大する維持管理費や更新費に苦慮している自治体が増加してきています。今後、“つかう”時代にふさわしい運用・運営手法の確立とともに、民間資金の活用に向けた新しい資金導入手法の必要性が求められる時代になってきました。わが国でも、PFI事業の導入によりプロジェクトファイナンスの手法が適用されていますが、海外では、さらに多様な形態で民間からの資金導入が活発に行われているようです。このような背景のもと、(社)土木学会ファイナンス手法研究小委員会(委員長:小澤一雅東京大学教授)では、国民のニーズにあった良質の公共サービスを今後も提供しつづけるため、インフラ事業の運営や整備・更新等に必要な資金を民間から導入する手法を考えることを目的とし、インフラ事業のための海外のファイナンス手法を調査し、わが国での新たなファイナンス手法の可能性等について、2006年4月より議論して参りました。さらに、上下水道、道路、まちづくり、新交通など個別の事業毎にその特徴と課題を整理し、今後の新たな民間資金導入の可能性について検討いたしました。

北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会では、小澤委員長にご協力をお願いし、このたび下記の通り、(社)土木学会ファイナンス手法研究小委員会の成果を道内の皆様に報告させて頂く機会を得ました。皆様の奮ってのご参加をお待ちしています。

記

1. 主 催：北海道土木技術会 建設マネジメント研究委員会
後 援：北海道、北海道開発局、(社)土木学会北海道支部、
(社)建設コンサルタンツ協会北海道支部、(社)日本土木工業協会北海道支部
2. 開催日：2009年2月6日(金) 15:00~17:00
3. 場 所：ホテルポールスター札幌(札幌市中央区北4条西6丁目 Tel:011-241-9111)
4. プログラム：

15:00~15:05 開会挨拶……………小澤一雅(ファイナンス手法研究小委員会委員長)
15:05~15:40 民間資金導入のニーズと可能性……………矢代晴実(東京海上日動リスクコンサルティング)
15:40~16:15 上下水道事業における民間資金導入……………玉真俊彦(日本上下水道設計)
16:15~16:50 道路事業における民間資金導入……………横塚雅実(鹿島建設)
16:50~17:00 閉会挨拶(新たな公)……………中村裕司(ファイナンス手法研究小委員会副委員長)
5. 参加申し込み方法：下記担当者宛にFAXかE-mailにて、氏名、所属、連絡先(電話番号、E-mail アドレス)を明記の上、平成21年1月28日までに申し込み下さい。
ただし、定員150名になり次第締め切りますので予めご了承下さい。
6. 参加費：4,000円(テキスト代「インフラ事業における民間資金導入への挑戦」定価3,360円を含む)
当日会場受付にてお支払いをお願いします。
7. 問合せ先：北海道土木技術会 建設マネジメント研究委員会
事務局担当：関 敦子(株式会社ドーコン 管理本部技術情報部)
FAX:011-801-1591 Mail:as835@docon.jp

講習会テキスト「インフラ事業における民間資金導入への挑戦」



コード No.	P674
ISBN	978-4-8106-0674-4
編集	建設マネジメント委員会 ファイナンス手法研究小委員会
発行年月	2008/10
版型:頁数	A4 判, 246 ページ , 並製本
重量	764g
税込定価	¥3,360